

公民館・図書館施設 整備計画懇談会報告

10月12日(水)に第2回、11月16日(水)に第3回「公民館・図書館施設整備懇談会」が開かれました。第2回では、保谷駅前施設の基本的な考え方と機能について、第3回では、概念図の作成等について話し合

開館当時の中央図書館 パート2

中央図書館の開館当時を知る職員に話を聞きました。

A 開館したら、書架はいっぱいあるのに、どんどん本がなくなっていくって、ちよつと遅く来たらお目当ての本どころか全然借りられなくて、よく怒られたもんだよね。

B あの当時は、今の市庁舎がなくて、タンポポが一面に咲いていたね。

C 市庁舎駐車場への坂道部分も図書館の敷地にする計画もあったね。

A 日本で初期に図書館のコンピュータが実用化されたって、自慢だったけど。

B そうそう、小平市と相前後して導入したんだよね。

C カウンターに本を持っていくと、職員が本の番号を押す。するとカードが出てきてそれを本のポケットにはさむんだ。返却されるとそのカードを機械処理して貸出デー

れました。3回目の懇談会に先立ち、11月2日(水)には住吉公民館、下保谷図書館と保谷駅を見学していただきました。

2回の懇談会の中で話し合われた基本的な考え方と概念図は、11月26日(土)に行われた(仮称)保谷駅前公民館・図書館利用者懇談会で市民の方に提案させていただきました。

タが消去されたんだよね。

A 開架室の中央のあたりは、明り取りがあつて、すぐく明るいでしょ、これも自慢だった。

B 移動図書館の自動車を走らせる構想もあつて、地下の書庫に作業スペースを作ったけれど、あれは夢に終わっちゃったね。



(仮称)保谷駅前公民館・ 図書館利用者懇談会報告

懇談会は、11月26日(土)午後6時から下保谷図書館2階集会室で開催されました。参加者は10名で、保谷駅南口の共有ビル4・5階に入る予定の公民館・図書館の施設構想を説明しながら、ご意見を伺いました。公民館の集会室や図書館のレファレンスルームなど、限られたスペースにどのような機能や動線を設定するのか、本格的な議論はまだ始まったばかりです。

ハンディキャップサービス 「利用者交流会」報告

今回で3回目となるハンディキャップサービス利用者交流会が11月20日(日)に行われました。サービスをご利用いただいている、主に視覚障害をお持ちの方9名をお招きして、図書館の音訳者25名の方々と職員とで楽しいひと時を過ごしました。いろいろな方とお話ししてみたいというご要望にお応えして、今回は、席を自由にしたフリータイムの時間を設けました。次に、前回お出しただいたご要望について、図書館の状況を説明しました。その後、サービスに関するご意見、ご要望をお聞きし、最後に全員で参加できる簡単なゲームを楽しみました。

日ごろのテープの郵送貸出のやり

とりだけではなかなか把握できないことも多く、利用者の方々と直接ふれあえる交流会の意義を感じました。今後もさらに回を重ねながら、ハンディキャップサービスの充実に努めていきたいと考えます。

宝くじ助成金で、
防音録音室を設置しました。



宝くじは
豊かさを
チカラ持ち。

宝くじは
広く社会に役立て
られています。

シンボルマーク

柳沢図書館と谷戸図書館の対面朗読室内に、(財)自治総合センター宝くじ助成「共生のまちづくり」事業により、防音録音室を設置しました。

図書館では、視覚障害をお持ちのみなさんへ提供する録音資料を作成するため、防音録音室の設置を進めてきましたが、芝久保図書館以外の5館については整備を終えました。今後、図書館が養成した音訳者の皆さんのご協力を得て、さらにサービスを拡充していきたいと考えます。

